

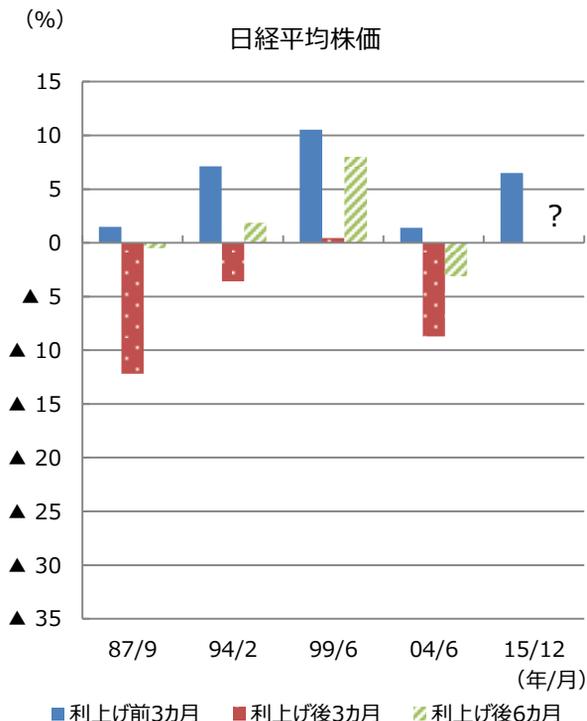
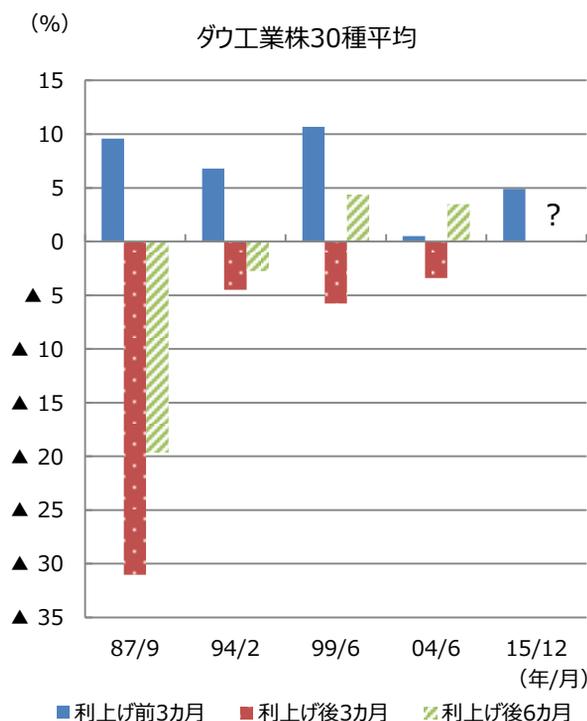
## Q 過去の米利上げ局面における日米株価の動きは？

**A** 日米株価は米利上げ前に上昇し、利上げ後は下落、その後回復する傾向が過去みられました。しかし今回は利上げの影響は限定的となる可能性があります。

■ 利上げ後3カ月の期間で日米の株価が下落したのは、1994年、1999年、2004年の米連続利上げのほか、1987年10月のブラックマンデー、1994年当時の米通商政策（ドル安容認）などが株価の重しとなったからです。

■ ただ今回は為替に関する国際合意や米国の通商政策の影響はなく、米利上げは極めて慎重に行われる見通しです。これらを勘案すれば利上げ後の株価下落の影響は極めて限定的となる可能性があります。

【過去の米利上げ局面における日米株価の変化率】



(注) 変化率はプライスリターン。2015年12月は、12月のFOMCで利上げが開始された場合を想定し、同年12月16日から3カ月遡り、11月17日までの変化率を示す。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。